

# 巨椋―紫光Aで決勝

## 花山と西野A下し



23日、準々決勝と準決勝の計6試合をみどりが丘で行った。準決勝では巨椋が1-0で花山に勝利し、2連覇を狙う紫光AはPK戦の末に西野Aを下して、それぞれ決勝に進出した。

巨椋は準決勝の前半、プレーに苦戦。だが後半は積極的に攻撃を仕掛

け、3分にFKのこぼれ球をMF浜田浩司君が右足で先制した。貴重な1点を全員で守って逃げ切った。

サンガカップ第32回京都少年サッカー選手権大会 (準々決勝から)

花山	1	0
長岡京SS	0	0
巨椋	3	1
舞鶴中筋	1	1
山田荘	0	1
西野A	1	1
紫光A	2	1
暁	1	0

1/31太陽が丘14・00

▽準々決勝 花山1-0長岡京SS、巨椋3-1舞鶴中筋、西野A1-0山田荘、紫光A2-0暁  
▽準決勝 巨椋1(10-0)0花山、紫光A1(01-10)1西野A (PK4-3)

### ◆紫光A戦績◆

2回戦	1-0	RiO
3回戦	2-1	太秦A
4回戦	2-0	ズイ-ガ
準々決勝	2-0	暁
準決勝	1-1	西野A

(PK4-3)

紫光Aと西野Aの準決勝は1点ずつを取り合い、一進一退の攻防を続ける好試合になった。1-1のままPK戦に突入し、4人が決めた紫光Aが勝利をつかんだ。決勝は1月31日午後2時から、3位決定戦は午後0時半から太陽が丘陸上競技場で行う。

(堤冬樹)

## 全員でプレー チームの身上

花山との準決勝を1-0で制した巨椋は初の決勝進出。数少ない好機を逃さず得点した浜田君は「絶対に入れようと思っ



巨椋―花山 中盤で激しくボールを奪い合う選手たち (みどりが丘)

「絶対に入れようと思っ」飛び抜けたエースはいないものの、元気に動き、声を出し合っで全員で戦うことがチームの身上。林重幸監督は「サツ

### ◆巨椋戦績◆

2回戦	3-1	高の原
3回戦	2-0	御蔵山
4回戦	1-0	下鳥羽
準々決勝	3-1	舞鶴中筋
準決勝	1-0	花山

カーに対する姿勢がともまじめ。決勝でも持てる力を出せば結果はついてくるはず」と期待する。チーム創立30年の節目につかんだ晴れ舞台。FWの中國勇樹主将は「J1京都サンガDFで先輩の魚田選手の時代を超えられてうれい。絶対に優勝して最高の思い出を残したい」と力を込めた。

## パス生かす 攻撃持ち味

紫光A

準決勝は思うようにパスをつかめずPK戦へ。長谷川佳弘監督は「気持ちの弱さが出たように思う。決勝では自分たちが相手より先に動きたい」と表情を引き締めた。

2連覇を狙う紫光Aは苦しみながらも接戦を勝ち抜き、決勝まで駒を進めた。有力チームが次々に姿を消す波乱含みのトーナメントで、地力を発揮してきた。ボールを止める、ける、運ぶという基本技術に重点を置き、巧みなパスワークを生かした攻撃が持ち味だ。

紫光A―西野A ゴール前で体を張った攻防を繰り広げる両チーム (みどりが丘)

